

事務事業名	しまねの元気な郷づくり事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農業・生産G	課長名	熱田 勇二
施策名	(33)農業の振興	担当者名	細田 和正	電話番号	0854-40-1051
目的	対 市内の農業従事者 意 A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。	予算科目	会計 013002 款 3002 大 02 事 2 業 7 名 1	(内線)	3703
基本事業名	(098)農業の6次産業化	大 事 業 名	農業振興事業	中 事 業 名	しまねの元気な郷づくり事業
目的	対 販売農家・団体 意 販売額を増加させる。	項 目	補助金		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 年度 ~ 24 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
過疎・高齢化の進行による生産力低下や担い手不足、農産物価格の低迷、食の安全・安心に係る消費者意識の変化など、農業を取り巻く厳しい情勢に対応するため、農林水産品の生産だけでなく、加工、販売など、地域資源を活かした経営の多角化や地域づくり活動などの戦略的な取組により所得や雇用の拡大を図る農業者等を支援する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)				
	①戦略立案・実践試行支援事業 (事業実施主体からの申請) ②施設・機械等導入支援事業 (事業実施主体からの申請)	平成24年度で事業終了				
	② 活動指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	ア 事業ヒアリング	回	3	5	4	-
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	農業生産団体 (農業法人、集落営農組織等)	ア 農家数	戸	4,990	4,545	4,545	-
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	農業生産団体における雇用及び農業所得の向上	ア 雇用人数	人	2	6	8	-
イ							
ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業実施主体: (有)木村有機農園	財源内訳	国庫支出金	千円			
◆ソフト事業 事業費2,996千円(うち県費1,450千円) ◆ハード事業 事業費17,416千円(うち県費5,805千円)		県支出金	千円	1,125	7,075	7,255
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			
計 事業費20,412千円(うち県費7,255千円)	事業費計 (A)	千円	1,125	7,075	7,255	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	350	350	350	
	人件費計 (B)	千円	1,361	1,380	1,371	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,486	8,455	8,626	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国、県ともに個別農家を支援する事業はなくなり、法人や集落営農組織等の大型農家への支援、また一体となって産地化を図る地域を支援する方向になっている。	新規事業のため特になし	平成20年3月に策定された「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」に位置づけられている目指すべき将来像、「産業としての自立する農林水産業」、「暮らしと結びついた農林水産業」、「活力ある元気な農山漁村」に向かうための期待度は大きい。

事務事業名	しまねの元気な郷づくり事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 生産者団体等の自主的な取組を支援する事業であり、成果は十分に上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 県単事業であり事業申請があれば実施しなければならない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 他に類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業主体による適切な事業費であり削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 適正な事務執行に努めており削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 生産団体等への受益機会は公平に確保されている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	雇用増加と所得向上を目指す事業であり、市としても積極的に支援する必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				